

令和4年度おおいた国際交流団体ネットワーク会議

大分県からの委託を受けて、11月12日に県立美術館研修室で開催しました。

「おおいた国際交流団体ネットワーク会議」は、県内で活動する国際交流団体間の連携を強め、それぞれの活動状況や課題、成功事例を共有することで、外国人住民が生き生きと暮らせる地域づくりにつなげることを目的とし、設置することとしたものです。

初回となる会議には、在住外国人数が多い国等に関係する団体にお声をかけ、当日は13団体の代表者等に加え、大分市の渡邊国際課長、別府市の高木文化国際課長、中小企業団体中央会の安井工業支援課長に出席いただきました。会議では、事例発表として、大分華僑華人会の里中事務局長による「子どもたちに対する母語・継承語の学習支援」の取組について、また、令和4年7月に設立した大分ネパール友好協会の共同代表のバスコタさんと宮崎さんに、同協会の設立の経緯や今後の取組などについて、それぞれ紹介していただきました。

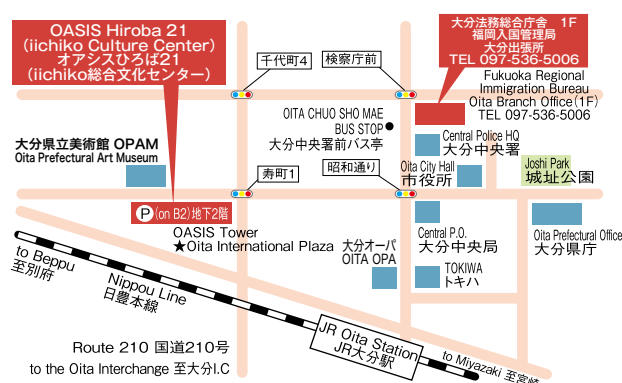
その後、各団体に簡単な活動報告や抱えている課題などについてお話をしてもらいました。「この会議を通じて情報交換や連携の強化につなげたい」との声も聞かれました。

最後に県・国際政策課の阿南課長補佐から外国人住民が増加する中、国際交流団体への期待は大きいものがあり、この会議を通じて各団体の活動が活発化することを願っているとの発言がありました。今年度2回目の会議は令和5年1月以降に開催する予定です。

**information**

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: ois@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土（相談センター・国際交流プラザ）
10:00～17:00（相談センター）
9:30～18:00（国際交流プラザ）
※日曜、祝日、jiichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



令和4年度九州地区地域国際化協会連絡協議会総会

9月30日に大分市内のホテルで標記会議を開催しました。

この協議会は、九州・沖縄の8県と3政令市の地域国際化協会をメンバーとする組織で、相互連携と情報交換を通じて地域レベルの国際化を推進することを目的としております。11県市で幹事を持ち回りしており、今年度は幹事の大分県で総会を開催することとなりました。コロナ禍で過去2年はオンライン会議であり、久々に対面で開催することができました。

総会には九州地区の各国際化協会の理事長や事務局の代表者などが参加したほか、自治体国際化協会の鳥田浩平理事、JICA九州の吉成安恵所長に出席いただきました。

会議の前には、大分県商工観光労働部の利光秀方部長に「グローバル化時代の大分県の産業政策」との演目で、県産品の海外販路の拡大、海外誘客（インバウンド）の推進など、大分県が進めている国際関連政策・施策について、ご講演していただきました。

会議では、当プラザの二日市具正所長が開催県を代表して、歓迎の意を表すとともに、本県の在住外国人数が過去最高の1万4千人を超えたこと、外国人住民の皆さんが生き生きと暮らし、学び、働くことのできる社会づくりを進めることが重要である等について挨拶を行いました。

その後、同所長が議長を務め、各県市から提出された「職員の人材育成」等の議題について、熱心な意見交換が行われたところです。

なお、令和5年度は幹事を熊本県が務め、同県で総会が開催されることが決まりました。



「令和4年度日本語教室・日本語ボランティア研修(東部地域)」を開催します

大分県内に在住している外国人は増加傾向にあり、日本語学習支援の必要性がますます高まっています。外国人に日本語を教えるボランティアを育成するための研修を実施します。関心のある方の応募をお待ちします。

- 日 程 令和5年1月22日、29日、2月5日の各日曜日（全3回）
10:00～16:00（9:30～受付）
- 場 所 国東市安岐町中央公民館ホール
- 講 師 立命館アジア太平洋大学 本田明子教授



詳しくはこちらのQRコードから→



相談事例

① センター相談

Q 県在住外国人です。病院受診後にコロナ陽性が判明し、病院から「健康フォローアップセンター」に登録するように言われました。申請方法を教えてください。



A 大分県ホームページ「登録申請（健康フォローアップセンター）」で確認できます。
URL : <https://www.pref.oita.jp/soshiki/12380/kenkoufollowupcentersinsei.html>

② センター相談

Q 外国人です。子どもを病院に連れていきたいが、日本語が分かりません。



A 「おおいた医療情報ほつとネット」で外国語対応が可能な病院を検索できます。



※希望する言語に対応できる病院が見つからない場合があります。

③ 専門家相談

Q 日本人です。技能実習生との結婚を考えています。必要な手続きについて教えてください。

A 結婚相手(技能実習生)の実習先・送り出し機関の了承を得て双国で結婚手続きを行い、その後、配偶者ビザの申請をします。個人で申請することが難しい場合は「申請取次行政書士」に依頼する方法もあります。大分県行政書士会
HP : <https://gyosei-oita.jp/> TEL : 097-537-7089

④ センター相談

Q 会社を経営している外国人です。将来、貿易で外国進出を考えています。どこに相談すればいいですか？



A 日本貿易振興機構(JETRO)で相談できます。詳細はホームページでご確認ください。
URL : <https://www.jetro.go.jp/>

専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ 中国語相談

■日時 毎週木曜日 10:00～13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

大分信息

我叫张子纯，是来自APU大学传媒专业的三年级学生。非常开心能和大家分享我在大分的留学生活。

回顾在大分的留学生活，我想用“机会”这个词加以概括。在学校，我先是加入了华艺这个中国传统艺术社团，进而竞选成为了华艺的代表。通过演奏二胡，我在一次地区交流活动中认识了一位同样会拉二胡的日本老爷爷。这位老爷爷即使二胡拉得非常好，还依然非常和蔼地请教我关于二胡的问题，给我留下了深刻的印象。和老爷爷的交流也让我第一次真正感受到了“音乐无国界”。

后来，在孔子学院新春节晚会上认识了大分中文学园的中文老师，于是开启了我的教中文工作。在大分中文学园，我看到了外国人学习中文的热情，作为中国人，我感到非常欣慰。而且，每次听前辈老师们的讨论都让我受益匪浅。我也时常感慨，搭建沟通的桥梁是一件很不容易的事情，单靠个人的力量是难以做到的。有幸参与传播语言的过程，大大地丰富了我的留学生活。

由于疫情，我不得不回国上网课。不过，在大分生活的一年的时间里，除了刚才所说的，我还得到了很多宝贵的机会。我认为这些机会都来源于我对日本生活的积极参与和融入。不仅如此，这些机会也大大地开阔了我的视野，让我以更包容的心态去迎接更多的新事物，进而得到更多机会。如此的良性循环，让我的留学生活变得丰富多彩。我想，这些都将成为我人生道路上的一笔宝贵财富。



张子纯

APU大学三年级 传媒专业

APU中国传统艺术社团元代表，大分中文学园中文老师。

留学期间多次代表学校、带领社团参加地域交流活动。曾在大分县“梦色音乐节”等活动中演奏二胡。自我评价：喜欢探索新事物，有很强的亲和力和包容力。

汉语咨询

欢迎您来大分国际交流广场

您想了解如何排解在日生活中发生的各种困扰吗？您想咨询大分县人土风情文化和独特的美食吗？那就来大分国际交流广场吧！

这里有可以用母语交流的工作人员等候您的来访。愿为您的生活排忧解难，愿为您提供多文化共生环境的国际交流，愿为您的生活增添一份愉悦和欣喜。

时间：每周四10:00---13:00

场所：大分国际交流广场

iichiko综合文化中心 地下一层

费用：免费

TEL:097-533-4021

网上咨询：oisc@emo.or.jp

自由参加





Mystical Mountain Trails: Autumn in Oita

Autumn. That time of the year when cold snaps out of your hands the summer you've been clinging on to. When leaves begin to crisp and turn from vibrant green to glorious golds, yellows, oranges, and reds. When the natural world begins to die, but in the most beautiful way. Although it is a time of the year I do not wish to step outside into the crisp, cool air, I make myself yearly just to see the beauty of autumn in full force. This autumn, we took a drive, winding around the twisting mountainous passes of Oita along a route that must have inspired some Ghibli movie or another.

The route we took passed through Shonai-machi towards our first stop, Shiramizukosen. Breathing in the fresh mountain air, we sipped on the natural waters gushing from a drinking fountain. The water was not only delicious, but was also naturally carbonated – a phenomenon I did not know to be possible. After admiring the autumnal visage of the sleepy inlet, flashes of oranges and reds spiralling softly to the ground from above, we moved onwards to our next stop: Kokonoe Yume Otsuribashi (Kokonoe Dream Suspension Bridge).



We passed through Kokonoe-machi on the way, admiring the flashes of vibrant colour dotting the mountainside as the sun's warm rays lit up the patchwork of trees in the most dazzling of ways. Walking across Kokonoe Dream Suspension Bridge was a marvellous experience indeed, and one I had not thought I would ever get the chance to have, in the height of autumn, no less. The bridge wobbled gently from side to side, however was surprisingly stable and much longer than expected. Looking down from up above the mountain basin, patchworks of warm oranges, reds, yellows, and golds flashed back up at us, sliced through by a couple of waterfalls, which glittered in the midday sun. It was truly a magnificent sight, and not nearly as scary as I had expected – or perhaps the sheer magnificence made the fear pale in comparison.



The excitement of the bridge and the overwhelmingly beautiful sights of the mountain path so far had worked up an appetite in me. Our next stop was lunch at Katsura Chaya, a restaurant-shop nestled in the mountains and only accessible by car. Again, I felt as if I had just stepped into the world of Ghibli. A water mill flanked the side of the traditional building, with a small *yatai* in the front selling *dango*, grilled fish, and *onsen tamago*. To my surprise, not only was the vendor wearing traditional clothes, but he also had racoon face paint on! The staff inside all had variations of this dress, some simply wearing a headband decorated with autumn leaves, whilst others donned full racoon getups – the female racoon at the counter even had a lovely traditional headdress and a kimono on! I ordered a *yamaimo* udon bowl, grabbed a fish on a stick, and sat out the back on the veranda overlooking another glorious autumnal basin. The *yamaimo* udon bowl was another pleasant surprise – with the texture of natto but a far palatable flavour, it complimented the warm noodle soup perfectly. It was just right in the crisp and cool autumn air.

Finally, we stopped at Yufu-dake Parking Area, enjoying the view of Yufu-dake and its surrounding mountains from afar. It provided the perfect contrast to the up-close explosion of colours we had enjoyed thus far. After resting a while, the sounds of whizzing motorway vehicles fading into the background as all senses honed in on the glorious sweeps and falls of the mountains before us, we made our way back along the winding road to Oita. Though perhaps a less known route, the one we took offered gorgeous sights, as well as a refresher from day-to-day life. For those spending autumn in Oita, the sights along this road are a must-see!



Festivals and Events

県内イベント案内 ※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

大本山 相国寺と金閣・銀閣の名宝

開催期間／開催中～1月22日(日)
休展日:12月26日(月)
会場／大分県立美術館 3階 展示室B
コレクション展示室
観覧料／一般1,200(1,000)円
大学・高校生800(600)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

ポケモン化石博物館

開催期間／開催中～1月24日(火)
会場／大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料／一般800(600)円
小・中・高校生500(300)円
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

イメージの力 河北秀也のiichiko design

開催期間／2月11日(土・祝)～3月29日(水)
会場／大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料／一般800(600)円
大学・高校生500(300)円
※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

教養として学んでおきたい古典芸能 ～歌舞伎と文楽・能狂言 こんなに面白い～

日 時／1月21日(土)
開 講／①11:00 ②14:00
会 場／地下1階 iichiko Space Be
リハーサル室
料 金／(全席自由・各回定員50名)
一般:500円
25歳以下 無料・要事前申込
講 師／葛西聖司(古典芸能解説者)

タンタシオン・デ・ブルー 12人によるチェロアンサンブル

日 時／2月5日(日)
開 演／14:00
会 場／iichikoグランシアタ
料 金／(全席指定)
S席:3,000円、A席:2,000円
U25割:各席半額
※未就学児入場不可
出 演／海野幹雄、西山健一、北口大輔 ほか
出 曲／目ノフク:組曲二長調
新垣 隆:ポエム(12人のチェリストのための) ほか

小林道夫 チェンパロリサイタル 最終章

日 時／2月24日(金)
開 演／19:00
会 場／iichiko音の泉ホール
料 金／(全席指定)
一般:3,000円、U25割:1,500円
※未就学児入場不可
曲 目／J.S.バッハ
ゴルトベルク変奏曲 BWV988
(クラヴィーア練習曲集第4巻)



大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集!



iichiko
総合文化センター



OpAM
大分県立美術館



JICAデスク 大分からこんにちは!

今秋はワールドフェスタへのブース出展ラッシュの季節となりました。

①10月29日(土)・30日(日)の2日間、佐伯市のさいき城山桜ホールにて開催された「さいき城山桜ホール 2ndアニバーサリーフェスタ『さいきワールドフェスタ』」にてJICAブースを出展しました!多文化共生推進を目的として、大規模に多国籍国際交流イベントを実施するのは佐伯市としても初の試みだったそうです。会場内では世界のカレー食べ比べや多文化カフェ、ベトナムの音楽披露など、異国情緒ある出展で賑わいました。



JICAデスク大分は2日間の終日(10～16時)にわたり、海外協力隊の活動写真パネルやJICA広報誌等の展示、海外協力隊への応募相談を実施し、2日目には世界の民族衣装体験ブース「世界のお洋服屋さん」にとても幅広い年齢層の方々にお楽しみいただきました。パネル展示等のメインブースには約75名(うち応募相談は約20名)、民族衣装体験ブースには約60名の方にご来場いただきました。



②11月5日(土)、大分駅前のお部屋ラボ 祝祭の広場に開催の「おおいたワールドフェスタ2022」にJICAブースを出展しました!大分市主催、JICA九州／

大学コンソーシアム大分共催のもと、今年は約30の国際関係団体が参加し、交流・展示・物販ブースや世界の料理ブースの出展、ステージパフォーマンスなどを行いました。今年は会場に地震体験車も登場!防災意識の向上を目的として、震度7の揺れを体験する人の列ができており、関心が集まっていました。



JICA九州(JICAデスク大分)は終日(11～16時)、SDGsの20面体さいころ作り体験、海外協力隊の活動写真パネルやJICA広報誌等の展示、海外協力隊への応募相談を実施しました。工作コーナーには約80名、展示等コーナーには約50名、応募相談は21名の方にお越しいただきました。

両イベント開催日はいずれも秋晴れの気持ちのいい天気にも恵まれました。会場内での交流等を通じて、世界の多様な文化を身近に感じたり、国際協力の大切さを考える機会となりました。なら幸いです。ご来場、誠にありがとうございました!



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 井本
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



「大分ネパール友好協会 (ONFA)」発足

大分県内に在留する600人を超えるネパール人（2022年6月30日時点）との交流や来日するネパール人への支援、大分県との関係を深めていく事を目的としています。



ごあいさつ

「大分ネパール友好協会」は、2022年7月に一般社団法人として出発することになりました。

「大分ネパール友好協会は、大分とネパールの発展と友情を永続的に支援すること」を設立宣言として、日本とネパールの文化、経済を通じて親善に努め、互いに対する協力・交流を強化します。さらにネパールの文化、経済に関する研究及び普及活動を広げていきます。他のアジアの地域との交流連携も深めて、大分での国際交流の一助になればと思っています。

共同代表：宮崎 省三 (Miyazaki Shozo)

私は2012年に立命館アジア太平洋大学 (APU) の留学生として大分に来ました。学生時代は複数の交換プログラムや日常的な交流を通じて地域社会と関わってきました。これらの経験は私にとってネパールの文化を共有するだけでなく、社会や地域の文化を学ぶ機会になり、日本とネパールの文化や価値観には多くの共通点があることがわかりました。

大分（および日本全体）でネパール人が増加するにつれて、ネパール人のさまざまな問題について相談できるプラットフォームと、多くの媒体に触れる機会が必要であると思いました。大分ネパール友好協会 (ONFA) は、これらのニーズに応え、両国の企業やその他の人々をつなぐことができるように設立されました。ONFAを通じて、大分とネパールの架け橋となり、価値観、文化、資源、知識を互いに共有していきます。

共同代表：バスコタ ロウナク (Baskota Raunak)



お問い合わせ

H P : <https://oitanepl.com>
住 所 : 大分県別府市駅前本町1-4
電 話 : 0977-23-1100
メール : info@oitanepl.com

おおいたワールドフェスタ2022

11月5日に大分市主催「おおいたワールドフェスタ2022」が、お部屋ラボ 祝祭の広場で開催されました。様々な国際関係団体が参加し、おおいた国際交流プラザも広報資料・リーフレット等の展示・配布を通して活動の周知に努めました。来場者は工夫を凝らしたブースやステージパフォーマンス、世界の料理に舌鼓をうちながら国際交流・国際協力を身近に感じる機会になりました。



おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について参加者に母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、アメリカ、韓国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 10名

●語学講座

新しい言語を習得したい方、学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、アラビア語

定員 各10名

●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語・ミャンマー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在留外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。



●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 コンパルホール（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:40

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週火 11:00～12:00（入門）

12:30～14:00（初中級）

毎週水 11:10～12:40（初中級）

連絡先 0977-23-1119 神（こう）